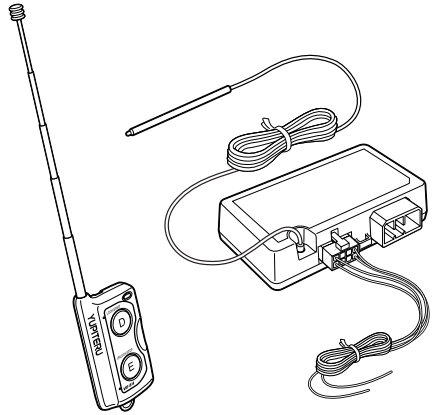
ユピテル工業株式会社
YUPITERU

テレコントロールエンジンスターター

VE-E4

取扱説明書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに
- 主な特長 ---------- 2
- ご使用の前に ---------- 4
- 安全機能について ---------- 7
- 各部の名称とはたらき ---------- 8
- 電池交換のしかた ---------- 9
- リモコンの上手な使いかた ---- 10
- リモコンの登録方法 ---------- 11

操作する
- エンジンを始動させる ---------- 12
- エンジンを停止させる ---------- 14
- 車への乗車 ---------- 15
- ドアロック/アンロックの操作 --- 16
- エンジンスターターの設定 ---- 18
  - セル時間の設定
  - アイドリング時間の設定
  - グロー時間の設定
  - ターボタイマー機能の設定
  - セルモータ停止タイミング検出方法選択
  - 始動判定方法選択
  - IG設定
  - エンジンスターター特殊制御設定
  - オールリセット
- ターボタイマー機能について --- 24
- スリープ機能について ---------- 25

その他
- バッテリー交換や本体付け替え時の再設定 ---- 26
- 故障かな？と思ったら ---------- 28
- 仕様 ---------- 29
- アフターサービスについて ---- 29
- 保証書 ---------- 裏表紙

警告

取り付けには、専門知識が必要です。

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- 本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりません。
- お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- 適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- 12V車で、㊀ アースの車

※ 上記の3つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- マニュアル(MT)車には取り付けできません。

主な特長

■目立たないスパイラルアンテナを採用し、車内スッキリ

車内のインテリアデザインをそのままに、エンジンスターターのアンテナに目立たないスパイラルアンテナ(特許出願中)を採用しました。

■電波到達距離(直線見通し)3,000mを実現

高度な通信技術、エンジン始動制御技術の採用により、安定したエンジンの始動・停止ができます。

市街地、住宅地(見通し)	約300m(300m～700m)
妨害電波の少ない河川道路(見通し)	2,000m～最大3,000m(当社測定)

※ 電波の届く距離は、地形・建物などの条件により変化します。
※ ファンモータなどのノイズの大きな車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときのほうが短くなることがあります。
※ 車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご使用ください。

■万一の事故を防止する充実の安全機能

本機により、エンジンを始動させるときや始動した後に、さまざまな安全機能が働き、万一の事故を防止します。

① エンジン自動停止機能
本機でエンジン始動した後、設定した時間が経過するとエンジンが自動的に停止します。

② P・ポジション検出
シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動はできません。また本機でエンジンを始動させた後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが自動的に停止します。
※ 一部の車輌では、P・(パーキング)ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。この場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■安心の3年保証

お客様に安心してご使用いただきますように、3年間の保証をご提供いたします。
※ 3年保証はメインユニット(リモコンは1年、電池等の消耗部品は除く)が対象となります。

■誤作動を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤作動を防止します。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.7秒、1.0秒、1.3秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせたアイドリング時間を、2/10/15/20/30分の5段階から選択できます。

■ターボタイマー機能

走行時間に合わせて、走行後のアフターアイドリング(30秒～3分)を自動的に行うことができます。
※ P・ポジションを自動検出できない車輌の場合は、P・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。(フットブレーキへの接続では動作しません)

■スリープ機能

車を使用しない状態が14日以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が動作すると、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度車のキーを使ってエンジンを始動させてください。

■リトライ機能

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで行います。

■多彩なオプション

① キーレスエントリー(別売A-17SF：キーレスエントリー線)
離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

② ハザードアンサーバック機能(別売A-18SF：ハザード制御)
本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後 最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅させてエンジンの始動をお知らせします。また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態(3回点滅)の確認ができます。さらに別売 キーレスエントリー：A-17SF接続車は、リモコン操作またはオートキーレス機能で、ドアのロック/アンロック時にハザードランプを1回/2回点滅させて、ドアの施錠/解錠が行われたことをお知らせします。

③ ドアミラーコントロール機能(別売A-35SF：ドアミラーコントローラ)
本機リモコンのドアロック・アンロック操作でドアミラーの開閉ができます。
※適応車種限定 詳しくは弊社サービス部または販売店にお尋ねください。

ご使用の前に（安全上のご注意）

次ページに続く

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告： 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意： 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

⃠ ⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

● ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

- **シフトレバーは必ずパーキング（P）の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する**…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- **車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない**…発火の恐れがあります。
- **車のボディカバーをかけたまま使用しない**…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- **お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない**…室内はキーでONした場合と同じ状態になり、大変危険です。
- **リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する**…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。
- **換気の悪い車庫や屋内では、使用しない**…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- **必ずボンネットが閉まっている状態で使用する**…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- **暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない**…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- **煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない**…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- **万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する**…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない**…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠警告

- **思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください**
  - ボンネットを開けるとき
  - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
  - 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
  - 長期間、車を使用しないとき
- **走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する**
  本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
  エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はスターターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- **車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する**
- **むやみに操作ボタンを押さない**
  …リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります
- **あらかじめ駐車時には以下のことを守る**
  - ワイパー、ラジオ（オートアンテナ車の場合）をOFFにしてください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
  - すべての窓を閉めてください。
  - すべてのドアを施錠（ロック状態）してください。
  - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。

※公道とは不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。

本機を取り付けたことによる、車輌や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

ご注意　電波法について

■リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■海外では使用しないでください。

■分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意　本機の機能について

■**オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車などで、本機をご使用になる場合**

オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車※で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態で本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。

※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

■他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

■**ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について**(オプション対応)

ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドア・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。

キーでエンジンをかけているときは、リモコンでドアのロック/アンロックはできません。

※車から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

ご注意　取り扱いについて

■リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。

■リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。

■リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■リモコンを次のような場所に放置しないでください。

- 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。

■リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。

■リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

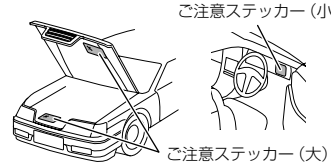
■ P・ポジション検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車輌では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケーターランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



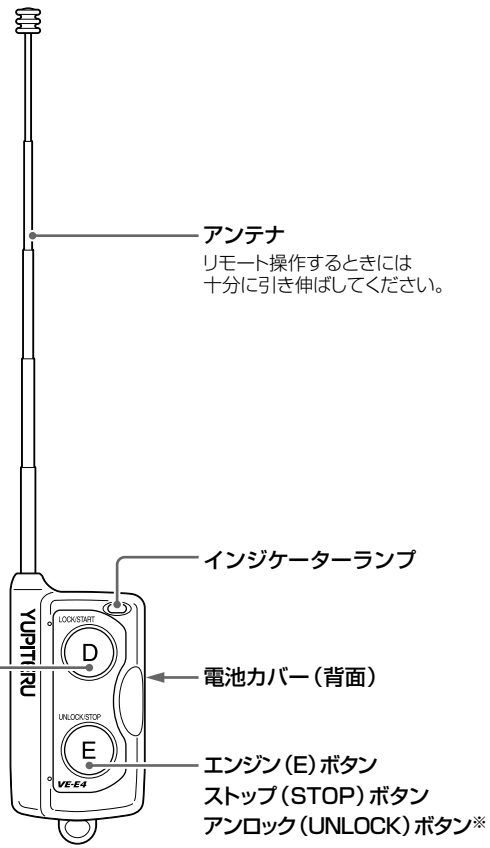
各部の名称とはたらき

リモコン

本機リモコンは、ダブルアクション操作(2回押し操作)により誤作動を防止しています。

ダブルアクションの最初にエンジン(E)ボタンを押した場合は、エンジンスターターの操作となり、最初にドア(D)ボタンを押した場合は、ドアロック/アンロックのキーレス操作ができます。

※本書、文中内の操作説明はエンジン(E)/ドア(D)ボタンの2つの名称で統一して記載しています。



※印は、別売 キーレスエントリー：A-17SF接続車のみ有効です。

電池交換のしかた

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。
電池交換中は車の周囲の安全を確認してから行ってください。

電池の交換時期について
リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。
早めに新しい電池と交換してください。

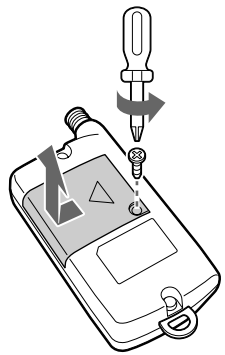
電池寿命の目安
約1年を目安に新しい電池(CR2032)と交換してください。

※ 使用する条件によって異なります。
※ 付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。
※ 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。

⚠警告

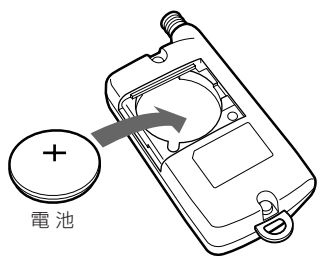
使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。
また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 電池カバーを開ける



※ ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池(CR2032)を、⊕を上にして入れる



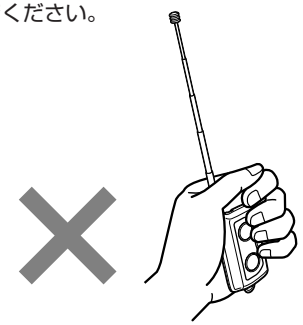
※ 内部のネジなどには触れないでください。
分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

3 電池カバーを閉める

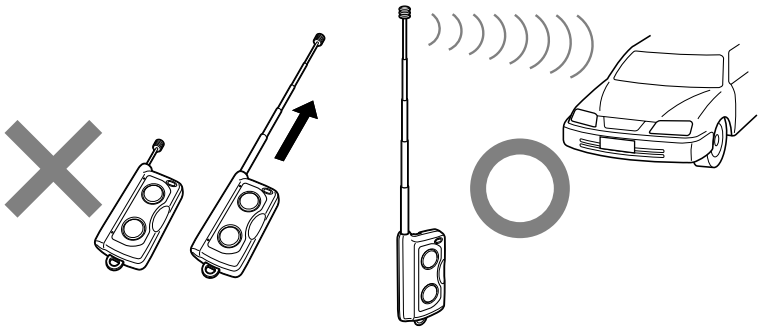
リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
※ 電波が飛びにくくなります。



■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



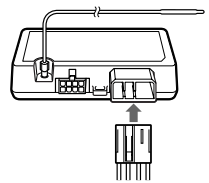
リモコンの登録方法

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。
※リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

付属のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

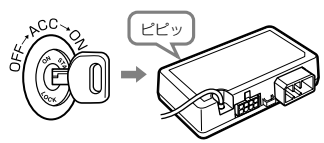
1 メインユニットからコネクタ1をはずし、再度接続する

『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』と確認音が連続してなります。

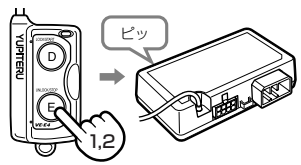


2 キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り替える

メインユニットから約3秒後に『ピピッ』と鳴ります。



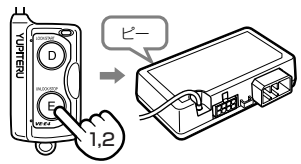
3 『ピピッ』と鳴ってから20秒以内に、登録を行うリモコンからストップ操作(Ⓔボタンを押し、インジケータランプが点滅中にⒺボタンを押す)を行う



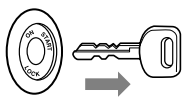
メインユニットから『ピッ』と鳴ります。
※メインユニットから『ピッ』と鳴らない時は、キーをOFFにして再度***2***の操作からやり直してください。

4 10秒以内に再度ストップ操作(Ⓔボタンを押し、インジケータランプが点滅中にⒺボタンを押す)を行う。

メインユニットから『ピー』と鳴り、登録完了となります。
※メインユニットから『ピー』と鳴らない時は、キーをOFFにして再度***2***の操作からやり直してください。



5 ON→ACC→OFFと切り替えキーを抜く



リモコン登録後、
P･ポジション検出(☛26ページ)
が必要となります。

エンジンを始動させる

⚠注意

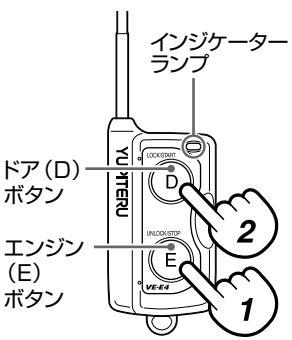
降雪時や寒冷地で車を駐車する際の注意

車を駐車する際は、ワイパーをOFFにしてください。

本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結等により、過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

リモコンを操作するときは

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると電波が飛びにくくなります。

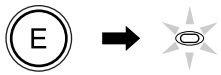


メモ

- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

リモコンの操作

1 エンジン(E)ボタンをインジケーターランプが点滅するまで押す

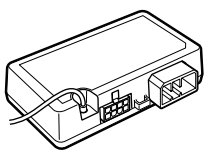


2 インジケーターランプが点滅中(約3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す

インジケーターランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 安全機能のチェックを自動的に行う



4 約5秒後にエンジンを始動させる

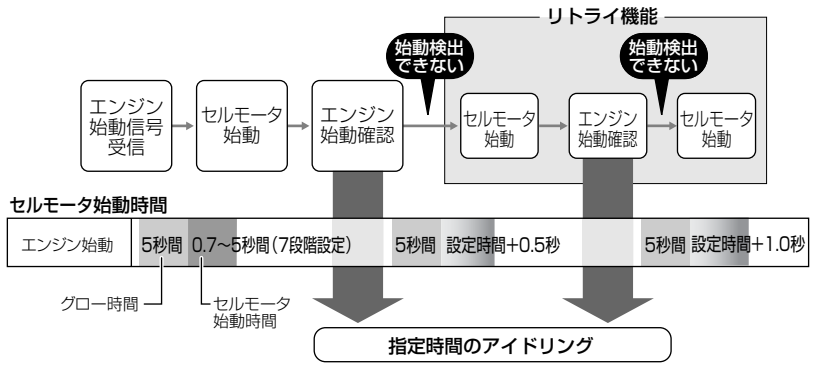
- 始動すると、アイドリング中はメインユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことをお知らせします)
- 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。
- 別売 ハザード制御：A-18SFを接続していると、エンジン始動後、ハザードランプを3回点滅させて、エンジン始動をお知らせします。また、エンジン始動中に上記エンジン始動操作を行うとハザードランプを3回点滅させて、アイドリング中であることをお知らせします。

●始動したあと、設定されている時間※が経過すると自動的にエンジンは停止します。

※2分から30分。(アイドリング時間の設定は18ページ参照)

リトライ機能とセルモータ始動時間について

エンジンが始動しなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。



※ オルタネータ線を接続した場合、エンジンの始動を検出すると、セルモータを停止します。

※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。

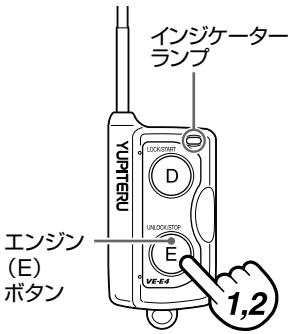
⚠警告

車輌の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

リモコンの電波は周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

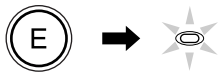
エンジンを停止させる

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止(アイドリングを中止)することができます。



リモコンの操作

1 エンジン(E)ボタンをインジケーターランプが点滅するまで押す



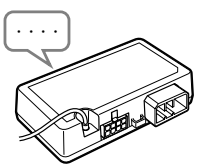
2 インジケーターランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す

インジケーターランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

3 エンジンが停止する

メインユニットからの断続音は鳴りやみます。



※フットブレーキを踏んで、一旦シフトレバーをDまたはRの位置にすることで、エンジンを停止することもできます。

メモ

エンジンが始動しているときに、ファンモーターなどのノイズの大きい車や、無線機の近くで使用すると、それらの影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。

車への乗車

安全のため、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

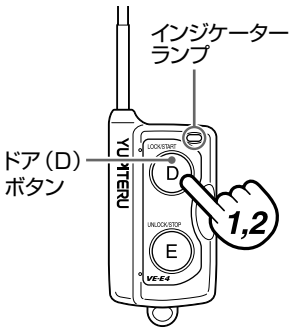
車を発車させる

キーでエンジンを始動させる

走行できます。

ドアロック/アンロックの操作

別売 キーレスエントリー：A-17SFの接続が必要です。



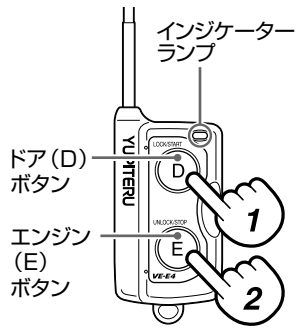
ドアを閉める(ドアロック)

1 ドア(D)ボタンをインジケーターランプが点滅するまで押す

2 インジケーターランプが点滅中(約3秒間)に、ドア(D)ボタンを押す

インジケーターランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わり、ドアロック信号が送信されます。

※ 別売 ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを1回点滅させて、ドアがロックされたことをお知らせします。



ドアを開ける(ドアアンロック)

1 ドア(D)ボタンをインジケーターランプが点滅するまで押す

2 インジケーターランプが点滅中(約3秒間)に、エンジン(E)ボタンを押す

インジケーターランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わり、ドアアンロック信号が送信されます。

※ 別売 ハザード制御：A-18SFを接続すると、ハザードランプを2回点滅させて、ドアがアンロックされたことをお知らせします。

メモ

- 本機でエンジンを始動した場合や、本機のターボタイマー機能によりアイドリングしている間でもドアロック/アンロックの操作はできますが、車のキーでエンジンを始動したときは、ドアロック/アンロック機能は働きません。また、本機でエンジンを始動後、車のキーをONにした場合、本機のアイドリング時間経過後は、ドアロック/アンロック機能は働きません。
- 本機でエンジンを始動する直前(セルが回っている間)は、ドアロック/アンロック機能の信号は受け付けません。

⚠注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコンの操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。

※ ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

操作する

エンジンスターターの設定

次ページに続く

本機は車輌や季節、気候にあわせて、また一部の特殊な車輌で最適にご使用いただくために、各種設定機能を設けてあります。

※設定操作は、☛20～23ページになります。

ご注意 「設定には専門知識が必要です」の記載がある項目は、不用意に設定を変更なさらないようお願いいたします。誤った設定は本機でエンジンが始動できなくなるだけでなく、セルモータ焼損など車輌の走行に支障をきたす場合がございます。設定変更が必要な場合は、本機取り付け店にご相談ください。

セル時間の設定
（設定には専門知識が必要です）

車にあった、セル時間を7段階から選択できます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。

※工場出荷時は1.0秒に設定されています。

設定値	設定音
0.7秒	ピッ
1.0秒	ピピッ
1.3秒	ピピピッ
1.5秒	ピピピピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

ポイント

オルタネータ線（白線）を接続している場合は、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を5段階から選択できます。

※工場出荷時は10分に設定されています。

設定値	設定音
2分	ピッ
10分	ピピッ
15分	ピピピッ
20分	ピピピピッ
30分	ピー

グロー時間の設定

一部のディーゼル車などで、5秒以上のグロー時間を必要とする場合は設定してください。リモコン始動などで問題がない場合は、設定を変更しないでください。

※工場出荷時は5.0秒に設定されています。

設定値	設定音
2.0秒	ピッ
3.0秒	ピピッ
5.0秒	ピピピッ
7.0秒	ピピピピッ
10.0秒	ピー

ご注意

グロー時間を7.0秒、10.0秒を選択した場合は、オルタネータ線の接続が必要です。

ターボタイマー機能の設定

ターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。

☛ 24ページ「ターボタイマー機能について」

※工場出荷時はOFFに設定されています。

設定値	設定音
OFF	ピッ
ON	ピピッ

セルモータ停止タイミング検出方法選択
（設定には専門知識が必要です）

セルモータ停止タイミングの検出方法を選択できます。セル時間を設定してもセルモータの引きずりが改善されない場合に、設定を「電圧検出」に変更してご使用ください。セルモータの引きずりがない場合は、設定変更しないでください。

※工場出荷時は「オルタネータ検出」（ブブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	電圧検出
「ブブッ」	オルタネータ検出
「ブブブッ」	検出しない

ポイント

工場出荷時の設定（「オルタネータ検出」を選択）をしている場合で、オルタネータ線が接続されていないときは、セル時間（☛18ページ「セル時間の設定」）で、セルモータを停止します。「電圧検出」選択時はオルタネータ線の接続は不要です。

ご注意

一部の車輌ではセルモータ停止タイミング検出を「電圧検出」に設定しても、セルモータの引きずりを改善できない場合があります。このような場合は設定を「オルタネータ検出」に戻して、オルタネータ配線を行ってください。

始動判定方法選択
（設定には専門知識が必要です）

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、1分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

※工場出荷時は「判定する」（ブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	「判定する」 各検出機能によりエンジンの停止を検出すると、アクセサリー電源などを停止状態（電源をOFF）にします。
「ブブッ」	「特殊判定」 エンジン始動の判定を特殊モードで判定します。

ご注意

特殊判定を選択したときは、エンジンの始動ができなかった場合でもアクセサリー電源などを停止状態（電源をOFF）にしませんので、頻繁にエンジンが始動しない状態が続く場合は、車輌のバッテリー上がりにご注意ください。

IG設定
（設定には専門知識が必要です）

特殊な場合（一部のホンダ車など）を除き、設定の必要はありません。

設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。

※工場出荷時は「IG1＋IG2」（ブブブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	IG1
「ブブッ」	IG2
「ブブブッ」	IG1＋IG2

エンジンスターター特殊制御設定
（設定には専門知識が必要です）

一部の車輌においてセルモータの制御が不能となることがあります。このような車輌において使用する特殊制御のため、設定に際しては弊社サービス窓口にお問い合わせください。

※工場出荷時は「ON」（ブブッ）に設定されています。

設定音	設定値
「ブッ」	OFF
「ブブッ」	ON

オールリセット

エンジンスターターの設定（☛18～23ページ）をすべて工場出荷時の設定に戻します。

設定音	設定値
「ブッ」	工場出荷時に設定を戻す
「ブブッ」	工場出荷時に設定を戻さない

次ページに続く

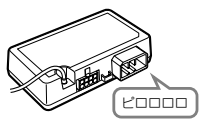
設定操作（セル時間／アンドリング時間／グロー時間／ターボタイマー機能の設定）

1 設定モードにする

リモコンの Ⓓ と Ⓔ ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に Ⓓ ボタンを押す

メインユニットから『ピロロロロ』と鳴り、設定モードになります。

※設定モードにすると、セル時間の設定項目となります。



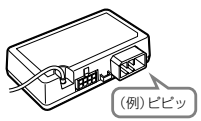
- 設定モード
…セル時間などの設定変更を行う状態です。設定モード中はエンジン始動やドアロック等の操作を行っても動作しません。

2 項目を選ぶ

ドアロック操作で設定項目（項目音）を選択する
セル時間の設定を変更する場合は、ドアロック操作を行わずに、そのまま 3 （項目の決定）に進む

※設定項目（項目音）を戻す場合は、エンジン停止操作を行ってください。

設定項目	項目音
セル時間	ピッ
アイドリング時間	ピピッ
グロー時間	ピピピッ
ターボタイマー機能	ピピピピッ



⇓：ドアロック操作（項目を進める）
Ⓓボタンを押し、インジケータランプ点滅中に Ⓓ ボタンを押す。

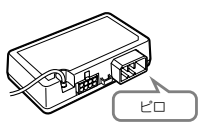
⇑：エンジン停止操作（項目を戻す）
Ⓔボタンを押し、インジケータランプ点滅中に Ⓔ ボタンを押す。

設定操作後は、約6秒（インジケータランプが消灯してから約3秒）以上の間隔で操作を行ってください。

3 設定項目の決定

リモコンの Ⓓ と Ⓔ ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に Ⓓ ボタンを押す

メインユニットから『ピロ』が鳴り、設定値の選択ができるようになります。



ご注意

設定モード中は30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから『ブーブー』と鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。

4 時間やON/OFFを選ぶ

時間を延長（ON）する場合は、希望する時間に応じた設定音が鳴るまで、繰り返しドアロック操作を行う

※設定値（設定音）を短縮（OFF）にする場合は、エンジン停止操作を行ってください。

⇓：ドアロック操作（設定時間の延長、ON）
Ⓓボタンを押し、インジケータランプ点滅中に Ⓓ ボタンを押す。

⇑：エンジン停止操作（設定時間の短縮、OFF）
Ⓔボタンを押し、インジケータランプ点滅中に Ⓔ ボタンを押す。

◆設定値（設定音）

●セル時間

設定項目	設定音
0.7秒	ピッ
1.0秒	ピピッ
1.3秒	ピピピッ
1.5秒	ピピピピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

●アイドリング時間

設定項目	設定音
2分	ピッ
10分	ピピッ
15分	ピピピッ
20分	ピピピピッ
30分	ピー

●グロー時間

設定項目	設定音
2.0秒	ピッ
3.0秒	ピピッ
5.0秒	ピピピッ
7.0秒	ピピピピッ
10.0秒	ピー

●ターボタイマー機能

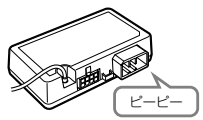
設定項目	設定音
OFF	ピッ
ON	ピピッ

：工場出荷時

5 時間やON/OFFの決定

リモコンの Ⓓ と Ⓔ ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に Ⓓ ボタンを押す

メインユニットから「ピーピー」と鳴り、設定内容が登録されます。



- 設定内容の決定操作を行わないと設定前の動作となります。

6 通常モードに戻ります。

他の項目を設定する場合は、1 から操作を行ってください。

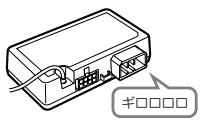
設定操作（セルモータ停止タイミング検出方法選択／始動判定方法選択／IG設定／エンジンスターター特殊制御設定／オールリセットの設定）

1 設定モードにする

リモコンの (D) と (E) ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に (E) ボタンを押す

メインユニットから『ギロロロロ』と鳴り、設定モードになります。

※設定モードにすると、セルモータ停止タイミング検出方法の設定項目となります。

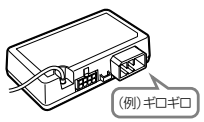


2 項目を選ぶ

ドアロック操作で設定項目（項目音）を選択する
セルモータ停止タイミング検出方法選択を変更する場合は、ドアロック操作を行わずに、そのまま 3 （項目の決定）に進む

※設定項目（項目音）を戻す場合は、エンジン停止操作を行ってください。

設定項目	項目音
セルモータ停止タイミング検出方法	ギロ
始動判定方法	ギロギロ
IG検出	ギロギロギロ
エンジンスターター特殊制御設定	ギロギロギロギロ
オールリセット	ギローギロ

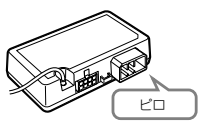


設定操作後は、約6秒（インジケータランプが消灯してから約3秒）以上の間隔で操作を行ってください。

3 設定項目の決定

リモコンの (D) と (E) ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に (E) ボタンを押す

メインユニットから『ピロ』が鳴り、設定値の選択ができるようになります。



↓：ドアロック操作（項目を進める）
(D)ボタンを押し、インジケータランプ点滅中に (D) ボタンを押す。

↑：エンジン停止操作（項目を戻す）
(E)ボタンを押し、インジケータランプ点滅中に (E) ボタンを押す。

ご注意

設定モード中は30秒以上ボタン操作がないと、メインユニットから『ブーブー』と鳴り、設定した内容を無効にして通常モードに戻ります。

4 設定値を進める/戻す、ON/OFFを選ぶ

下記の項目を確認しながら、設定値（設定音）を進める（ON）場合は、ドアロック操作で、メインユニットからご希望の設定値に対応した設定音が鳴るまで操作する

※設定値（設定音）を戻す（OFF）場合は、エンジン停止操作を行ってください。

↓：ドアロック操作（設定値を進める、ON）
(D)ボタンを押し、インジケータランプ点滅中に (D) ボタンを押す。

↑：エンジン停止操作（設定値を戻す、OFF）
(E)ボタンを押し、インジケータランプ点滅中に (E) ボタンを押す。

◆設定値（設定音）

●セルモータ停止タイミング検出方法選択

設定音	設定値
ブッ	電圧検出
ブブッ	オルタネータ検出
ブブブッ	検出しない

●始動判定方法選択

設定音	設定値
ブッ	「判定する」 各検出機能によりエンジンの停止を検出すると、アクセサリー電源などを停止状態（電源OFF）にします。
ブブッ	「特殊判定」 エンジン始動の判定を特殊モードで判定します。

●IG設定

設定音	設定値
ブッ	IG1
ブブッ	IG2
ブブブッ	IG1+IG2

●エンジンスターター特殊制御設定

設定音	設定値
ブッ	OFF
ブブッ	ON

●オールリセット

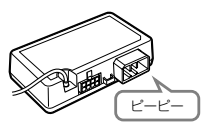
設定音	設定値
ブッ	工場出荷時に設定を戻す
ブブッ	工場出荷時に設定を戻さない

：工場出荷時

5 設定値の決定

リモコンの (D) と (E) ボタンを同時に押し、インジケータランプが点滅中に (E) ボタンを押す

メインユニットから「ピーピー」と鳴り、設定内容が登録されます。



6 通常モードに戻ります。

他の項目を設定する場合は、1 から操作を行ってください。

- 設定内容の決定操作を行わないと設定前の動作となります。

操作する

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドリングを自動的に行うことができます。アフターアイドリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあとも、アフターアイドリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション検出)
ただし、P・ポジション検出ができない車輌でP・ポジションインジケーターランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■ターボタイマー機能の設定

本書「エンジンスターターの設定」でターボタイマー機能のON/OFFを設定できます。
☛ 18ページ「ターボタイマー機能の設定」

■ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能の設定をすると、車のキーをACCまたはOFFにしたとき、自動的にアフターアイドリングになります。

※ アフターアイドリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。
※ 給油等でアフターアイドリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、一旦シフトレバーをDまたはRの位置にすると、エンジンを停止することができます。

■オート方式のアフターアイドリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ ターボタイマー機能のアフターアイドリング時間は、パーキングポジション(P)検出から開始します。

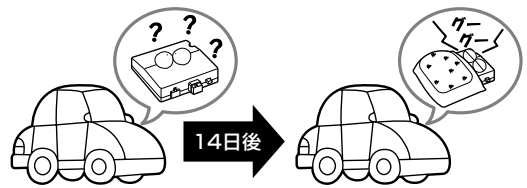
⚠注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。

※ カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。
スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。
スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

車のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。
このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション検出(☛26ページ)が必要です。

バッテリー交換や本体の付け替え時の再設定

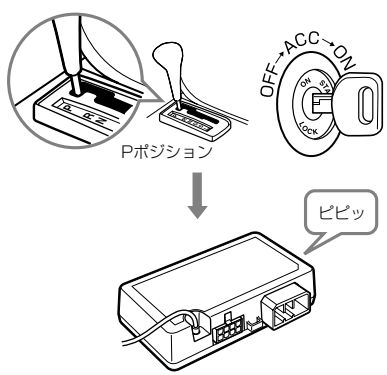
バッテリーの交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション検出が必要です。
車種別専用ハーネスを接続すると、本機のメインユニットから『ピピピッ　ピピピッ　ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。以下の手順でP・ポジション検出を行ってください。（このような場合では、P・ポジション検出をしないと本機は動作しません）

1 車種別専用ハーネスをメインユニットのコネクター1に接続します

メインユニットから『ピピピッ　ピピピッ　ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。

※確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。

2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます



メインユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。

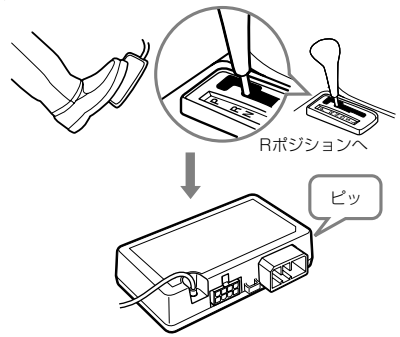
※何も音が鳴らない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を再度確認してください。

P・ポジション検出ができず、フットブレーキに配線した場合

ブレーキペダルを踏まずに、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます

メインユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。

3 フットブレーキをかけシフトレバーをP（パーキング）・ポジションからR（リバース）・ポジションに切り換えます



メインユニットから『ピッ』と鳴ります。

※何も音が鳴らない場合は、P・ポジション検出ができません。ブレーキ検出線（茶）の接続が必要です。（ブレーキ検出線の接続先は取付・接続説明書をご覧ください）

P・ポジション検出ができず、フットブレーキに配線した場合

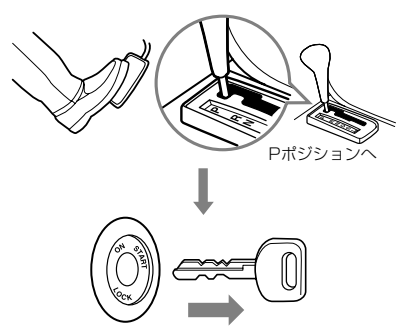
ブレーキを踏みます。

メインユニットが『ピッ』と鳴ります。

※ターボタイマー機能を使用する場合は、P・ポジションインジケーターランプにブレーキ検出線を接続のうえ、メインユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、最初からP・ポジション検出を行ってください。

※ターボタイマー機能を使用しない場合は、ブレーキスイッチにブレーキ検出線を接続のうえ、“フットブレーキに配線した場合” の手順に従って、P・ポジション検出を行ってください。

4 シフトレバーをP（パーキング）・ポジションに戻し、キーを抜いてください



メインユニットより『ピー』という音が鳴ります。

※ブレーキ検出線をP・ポジションインジケータランプに接続した場合、『ピロロロロ』と鳴ります。

P・ポジション検出ができず、フットブレーキに配線した場合

ブレーキをはなします。

メインユニットが『ピロロロロ』と鳴ります。

以上でP・ポジション検出は終了です

必要に応じて各センサー線（オルタネータ線、キーレスエントリー線、ハザード制御など）の接続を行い配線処理を行ってください。

※上記の操作で確認音が鳴らない場合や、何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類やアース線の接続場所、センサーハーネスの接続場所を変更する必要があります。お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。

その他

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。

症　状	チェック項目	実施項目
操作ボタンを押してもリモコンのインジケーターランプが点滅しない	• 電池が消耗していませんか？ • 電池が正しく入っていますか？	• 新しい電池と交換してください。 • 正しく電池をセットしてください。(☛9ページ)
リモコン操作でエンジンが始動または停止できない(インジケーターランプが点灯する場合)	• スリープ機能が働いていませんか？(☛25ページ) • シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか？ • それぞれのコネクターがメインユニットへしっかり接続されていますか？ • エンジンスターターの設定が正しく設定されていますか？ • P・ポジション検出ができていますか？ • 車と離れすぎていませんか？ • 車のバッテリーが弱っていませんか？ • キー操作でエンジンが始動しますか？ • キーでエンジンを始動していませんか？ • リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？	• 1度キーでエンジンをかけてください。 • シフトレバーをパーキング(P)ポジションにしてください。 • 確実に接続してください。 • 正しく設定してください。(☛18～23ページ「エンジンスターターの設定」) • 一部の車輌では、P・ポジション検出ができないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケーターランプへの接続が必要です。(接続しないと、本機は動作しません) • 電波の届く範囲内で操作を行ってください。 • バッテリーを充電するか、新品と交換してください。バッテリーを交換した場合には、P・ポジション検出が必要です。 • 車の点検をしてください。 • キーでエンジンを停止してから行ってください。 • アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。
リモコン操作できる距離が短い	• リモコンのアンテナに手を触れていませんか？ • リモコンの電池が消耗していませんか？ • 車とリモコンの間に、障害物がありませんか？ • リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？	• アンテナに手を触れないで操作を行ってください。 • 新しい電池と交換してください。 • 障害物のない場所から操作を行ってください。 • アンテナを十分に伸ばして操作を行ってください。

本機によるエンジンスタートやターボタイマー機能が動作しない場合は、エンジン始動失敗後にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
PPP PPP PPP	Pポジションの検出ができていません。(☛26ページ)
P- P	エンジンスターター動作中断時 P・ポジション検出
P- P P	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
P- P-	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
P- P- P	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
PPP P	キー飛び込み検出
P- P- P P P	エンスト検出

その他

仕 様

■送信機(リモコン)

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送信周波数	426.0750MHz
送信出力	1mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
使用電池	リチウム電池 CR2032×1
動作温度範囲	−10℃～+50℃
寸法	29(W)×50(H)×11.4(D)mm (突起部含まず)
重量	19g(電池含む)

■受信機(メインユニット)

受信周波数	426.0750MHz
電源電圧	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：約4mA以下 待機時：約8mA 最大：約300mA
動作温度範囲	−20℃～+60℃
寸法	メインユニット： 111(W)×26(H)×61(D)mm (突起部含まず) アンテナ線：約2.4m
重量	120g

アフターサービスについて

次ページに続く

■保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間
お買い上げの日から3年間です。

●対象部分
メインユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき
「故障かな？と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき
恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき
取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は
お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき
リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。
※リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

「取付・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輌や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

その他

アフターサービスについて

ユピテルご相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間　10：00～18：00　（年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　　TEL. (0564)45-6515

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間　9：00～17：30　月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部　TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL. (082)230-1711 〒731-0135 広島県広島市安佐南区長束1丁目34-22-102
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
   (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
   (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ)本書のご提示がない場合
   (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は30ページをご覧ください。

保証書

（持込修理）

本書は、本書記載内容（裏面記載）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番		VE-E4（テレコントロールエンジンスターター）
S.No.		
年 月 日		
保証期間		お買い上げの日より 年 対象パーツ・ユニット（リモコン 年。消耗部品は除く）
お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL.（　　）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

無効

ユピテル工業株式会社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100％の再生紙と大豆油インキを使用しています。
R100 PRINTED WITH SOY INK 6SS0966-A